

平成28年度 板倉区における主な事業

H28当初予算 (単位:千円)

	事業名・事業内容	所管課	事業費
1	コミュニティプラザ整備事業	自治・地域振興課	
	<p>地域コミュニティの拠点施設として地域住民への開放、積極的な利用を促進するとともに、老朽化等を考慮し計画的な修繕を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場融雪施設入替工事 L=71.1m ・ 市民ホール空調更新工事 1式 		17,172
2	地域活動支援事業	自治・地域振興課	
	<p>地域の課題解決や活力向上を図るため、地域活動資金を28の地域自治区に配分し、地域住民の自発的・主体的な取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度 板倉区配分額 		6,400
3	板倉区地域振興事業	自治・地域振興課	
	<p>市民活動団体等が実施する地域振興に資する事業に対し支援を行い、個性をいかした地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 板倉ふれあいまつり ・ 宮古島市交流事業 ・ 東京板倉会交流事業 		3,132
4	地域集落支援事業	自治・地域振興課	
	<p>高齢化や人口減少、後継者、担い手不足により共同活動等の維持が困難となっている集落に対して、住民同士や集落出身者等を活用した支え合いや自主的・自発的な地域づくり活動が継続的に行われるよう支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落づくり推進員 8人 121集落 (全市対象 18,425千円) 		-
5	中山間地域等活性化対策事業 (中山間地域等直接支払交付金)	農政課	
	<p>農業生産条件が不利な状況にある中山間地域において、農業生産の維持を図りつつ多面的機能を確保する観点から、中山間地域等直接支払交付金を活用し農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。また、集落を超えて連携し、地域の課題に取り組む地域マネジメント組織の活動を支援することにより、元気な農業・農村づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域直接支払第4期対策の2年目 ・ 板倉区協定組織: 16組織 (19集落) ・ 板倉区協定面積: 229.4ha 		49,959
6	中山間地域元気な農業づくり推進事業	農政課	
	<p>中山間地域の農業及び農村の維持と地域農業を担う体制を確立するため、中山間地域元気な農業づくり推進員を配置し、中山間地域の農業の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域元気な農業づくり推進員 2人 (全市対象 5,979千円) 		-
7	多面的機能支払交付金事業	農林水産整備課	
	<p>地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全向上の取組を支援するとともに、農業用施設の補修・更新等による長寿命化の活動等を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 板倉区活動組織: 農地維持 (32組織) 共同活動 (24組織) 長寿命化 (18組織) ・ 板倉区対象面積: 農地維持 (935ha) 共同活動 (836ha) 長寿命化 (556ha) 		67,260

平成28年度 板倉区における主な事業

H28当初予算(単位:千円)

	事業名・事業内容	所管課	事業費
8	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費	観光振興課	
	<p>光ヶ原高原に広がるブナ林や自然景観を活かし、市内外からの交流人口の拡大を図るため、光ヶ原高原の各施設を適切に維持管理・運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光ヶ原高原観光総合施設管理経費 ほか 		7,791
9	観光施設等管理事業	観光振興課	
	<p>快適に観光施設を利用できるよう、指定管理者制度により施設を管理・運営するとともに、施設の安全を確保するため、建築物の定期検査や修繕等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料(板倉保養センター、ゑしんの里記念館) ・板倉保養センター通信カラオケ購入 1式 ・ゑしんの里記念館、板倉保養センター施設修繕 1式 		22,869
10	観光振興対策事業	観光振興課	
	<p>板倉区の観光資源のPR活動や観光施設の利用促進活動を実施する一般財団法人ゑしんの里観光公社へ補助金を交付し、活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゑしんの里観光公社補助金 		400
11	道路整備事業	道路課	
	<p>(田井線)</p> <p>当該路線は、主要県道2路線及び町内会を結ぶ重要な生活道路であるとともに、周辺町内から豊原小学校への通学路となっている。 しかし、歩道が整備されておらず危険な状態であることから、歩道を新設し、歩行者の安全及び快適性の確保を図る。 全体計画 延長 L=500m、W=2.5m 事業期間 H26～H29 ・H28 不動産鑑定委託 1式 歩道新設工事 L=250m 用地買収 A=912㎡ 移転補償費 N=1棟</p> <p>(板倉中央線歩道新設)</p> <p>板倉南部地区から針地内の中学校・高校への通学路として利用されている市道板倉中央線(針曾根田線交差点～山部地内県道上小沢脇野田停車場線接続間)の自歩道整備及び県道上越飯山線との交差点改良により、通学生徒等の安全を確保するとともに交通の円滑化を図る。(完成区間から順次供用開始) 全体計画 針～山部間 延長 L=1,230m、自歩道幅員 W=3.50m 歩道橋(大熊川)1橋、交差点改良(県道上越飯山線)1か所 事業期間 H17～H29 ・H28 歩道新設工事 L=80m 右岸橋台工事 N=1基 電柱移設 N=2本</p> <p>(板倉中央線改築)</p> <p>県道上小沢脇野田停車場線と県道三和井線とを結ぶ路線を拡幅改良することにより、地域住民の安全かつ円滑な交通を確保する。 全体計画 山部～米増間 延長 L=546m、幅員 W=6.0m 事業期間 H24～H28 ・H28 道路改良舗装工事 L=215m</p>		124,901

平成28年度 板倉区における主な事業

H28当初予算(単位:千円)

	事業名・事業内容	所管課	事業費
12	小学校大規模改造工事・給食室改修工事	教育総務課	
	経年劣化した施設及び設備を改善し、児童の安全・安心の確保及び快適な教育環境の整備を図る。 ・豊原小学校給食室改修工事施工管理委託 1式 ・豊原小学校給食室改修工事 1式		87,664
13	小学校市単独事業	教育総務課	
	学習形態の多様化に対応した教育施設の整備を行うとともに、経年劣化した施設及び設備を改善し、児童の安全・安心の確保及び快適な教育環境の整備を図る。 ・山部小学校ランチルーム屋上防水工事 1式 ・豊原小学校図書室エアコン設置工事 1式		5,309

自主的審議事項の引継ぎについて

番号	部 会	テーマ	現 状	検討課題	審議内容	引継ぎ事項
1	地域振興	廃屋・空き家の増加と有効利用について	廃屋・空き家が中山間地のみならず平地でも見られるようになり、事故等が懸念される。これらを有効活用する方法や管理の方法など改善策の検討が必要である。	転出後の住宅管理届出書のマニュアルの作成。 (1)財産管理(2)転入(3)転出 各町内会の役員が交代で引き継ぐ際に使用する。	・転出後の住宅管理届出書について ・町内会長への空き家対策のマニュアル作成について ・地域協議会勉強会の「空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例」について	・町内会（地区）へ転出後の住宅管理届出書、空き家対策のマニュアル、空き家バンクについて説明して周知を図るよう、行政に依頼継続。
2	健康福祉	交通弱者・買い物弱者への対応について	バス路線は高齢者など足腰の弱い人がバス停までいくのに大変であり、交通弱者に対応した経路でない。現在、デマンドバスが利用されていない。	デマンドバスが、ほとんど利用されていないため、民間の活力を利用した方法を検討する。	・特に高齢者が商店街等を利用しやすくするために板倉区内の路線バス経路の検討を行い、関係機関に経路変更を要望した。 ・上越妙高駅への路線バス乗り入れを関係機関に要望した。	・板倉区内の路線バス経路実現に向けてフォローする。 ・上越妙高駅への路線バス乗り入れ実現に向けて更なるフォローを行う。
3	健康福祉	要援護者の支援体制について	災害時の高齢者の安全確保や近隣で見守るための基礎データとして、板倉区全体のマップの作成方法について検討が必要である。	修正案等を検討する。	・要援護者の支援体制図の修正を行うと共に、それが実施されるように関係機関に要望した。	・上越市の新しい総合事業が始まったため取り巻く環境が大きく変化し、H26 年度にまとめた要援護者支援体制が実情と合わなくなっているため、新たに見直しを行う。
4	産業建設	板倉区観光振興の明確な方向付けについて	北陸新幹線開業を控え、地の利で優位にある板倉区には数々のジャンルの観光資源がある。今後、観光資源の生かし方、インフラの整備、地域滞在型来訪者を増やす方法など施策の方向付けが必要である。	板倉区の観光の中核となる組織の役割の明確化を検討する。	平成 26 年度で示された板倉観光の方向性の骨子 1 板倉区の観光の推進役は「ゑしんの里観光公社」とする。 2 観光の中心を「ゑしん」と「光ヶ原」に置き、多様な自然と歴史を PR していく。 ・27 年度は板倉観光の広報活動と実利を目指し地域限定旅行業のライセンス取得を実現したものの、実際的な動きはほとんど皆無に等しく、「人」「金」「もの」を早急に投入し、体制強化を進めることが焦眉の課題である。 ・光ヶ原そのものの利活用と、広域観光の促進による上越地域の波及効果が十分に期待できる「光ヶ原・関田峠」間 1.5 車線化を早期に実現するために検討会に参画し、「上越市」「新潟県」双方に説得性のある要望書の提出を企画中。	・平成 25 年度で示された「板倉区の観光の方向性」（A3 判）の推進及び板倉区の観光の推進役としての「ゑしんの里観光公社」の体制整備について市として強力な指導力を発揮してもらうよう働きかけを継続する。 ・「光ヶ原・関田峠」間 1.5 車線化の実現に向け、委員会として主体的に関与していただきたい。 ・板倉ならではの特産物開発を提言していただきたい。 ・2020 年が「恵信」没後 750 年忌を迎え、恵信終焉の地、板倉が空前の来場者を迎えると予想される。これを観光促進の一環として捉え、気運の醸成、インフラ整備を早期に開始する必要がある。
5	産業建設	中山間地の耕作放棄地対策	最近の米の生産調整により、地すべり地を含めて中山間地の水田が休耕田となり、放置されたままになっている所が多い。 ・近年の高齢化と農業離れから耕作放棄された中山間地の水田での経営自立方策について検討が必要である。	過疎、高齢化以外の要件について、課題の整理を行う。	・不在地主の土地が耕作放棄となる現状を考慮すると、早期に手放すことを促進する施策が必要。 ・明らかに耕作不適地が農地となっている土地が至るところに見られる。簡便な方法で地目変更できるようにすることが必要ではないか。 ・定住型の中山間地支援のための人を板倉区にも配置してほしい等の意見が出されたものの深化し、課題として整理するまでに至らなかった。	どれをとっても大きな法や制度の壁があり、別の次元での議論が必要である。

板倉区の小学校の在り方についての各校区別意見結果

板倉区地域協議会 平成27年12月

針小（針地区）	宮嶋小（宮島・筒方地区）	山部小（山部・寺野地区）	豊原小（豊原地区）
<p>・できるだけ早期に板倉区1校とすることが望ましい。それまでの間、必要に応じ、段階的統合も進めることが望ましい。</p> <p>なお、「子供たちのため」を第一としてお進めいただきたい。</p>	<p>1 筒方地区としては、すでに宮嶋小学校と統合しているのでこの先、統合が進んでも問題ないと考えている。但し、児童の通学の足は確実に確保してほしい。</p> <p>2 宮島地区としては今年度2回の地域意見交換会、また12月23日の地区連絡協議会でさまざまな意見が出たが基本的には平成26年12月2日に提出された『要望書』に沿った形で進めていただきたい。</p> <p>3 進め方として段階を踏んだ統合ではなく、板倉区／1校で進めていただきたい。校舎新築の場合は保育園、中学校付近が望ましいと思う。</p> <p>4 筒方地区と同様に統合後の通学の足は確実に確保してほしい。徒歩通学児童がいる場合は歩道の整備等も確実に進めてほしい。</p>	<p>1 今後児童が少なくなるばかりで教育上からすると、子供達は競争力が無くなるという話もあり、中学校の様に針中心地に小学校も1校に纏めた方が良い。</p> <p>2 どちらにしてもメリット、デメリットはあると思いますが、保育園も統合され大きな集団の中で経験を積んでいるし、その先の中学を考えたとしても小学校は統合されていくのが普通だと思う。</p> <p>3 反対されている校区も有るので針小学校と豊原小学校の2校に纏めれば良い。(針、山部、宮嶋で1校・豊原で1校)</p> <p>4 小学校が無くなると地域の活性が無くなる。少人数だからこそ保護者や学校と協力し合えるのではない。</p> <p>5 空いた各小学校の利活用についても、基本構想を（プラン）しっかり計画する事が大事である。(特に避難所に指定されている建物)</p> <p>以上の様に学校が無くなると活性が無くなるという様な反対意見もありましたが、多くの人達は小学校を1校に纏めて欲しいという意見でした。</p>	<p>・豊原校区の総意として、現状では豊原小学校が統合する必要はなく、存続を強く望みます。今後、豊原小学校の児童数がどこまで減少するかわからないが、激減した時には再検討すればよいと考える。</p> <p>一方、板倉区の4小学校を考えた場合、一度に一校化統合する必要はなく、実情に応じて段階的に統合すればよいと考える。</p> <p>小規模校の宮嶋小学校と山部小学校の2校については、希望するなら先行して統廃合を検討することが望ましい。</p> <p>・理由 大多数の共通した意見・要望は豊原小学校の存続であります。 豊原小学校は児童数から判断して、現状では統合の必要はなく、将来必要に応じて再考すれば良いと考えます。 又、豊原小学校は児童が徒歩で通える好立地に在るとの理由で団地に移住した人もおり、小学校が在ることで人も集まり易くなる。 地域の活性化には小学校が必要であり、許す限りの存続を望む。 防災上、避難所を兼ねた小学校の存在は必要である。 等、他にも多くの意見から現状では統合に反対します。 次に比較的多かった意見は宮嶋小学校と山部小学校については統合を検討することが望ましいということです。 一度に一校化統合する必要はなく、児童数の推移を鑑みて、統合を希望するところから段階的に対処していくとの考えです。既に統合を希望している宮嶋小学校と小規模校の山部小学校は統合を検討したらよいと考えます。</p>

※平成27年12月に各校区別に提出された各地区からの提出文書を抜粋

平成 28 年度以降の児童数見込み

(H27.5 の学校基本調査及びH28.1 現在の住民基本台帳より)
 ※平成 34 年度の 1 年生は、平成 28 年 1 月末日現在の 0 歳児数を記載
 ※網掛けは複式学級

児童数の推移									
針 小学校	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	平成 28 年度新潟県公立小・中学校学級編制基準 (抜粋) 1. 同学年の児童で編制する 1 学級の児童数は、第 1 学年では原則として 35 人以下とし、第 2 学年から第 6 学年までは原則として 40 人以下とする。ただし、第 1・2 学年に限り、32 人以下の編制にする場合は同意する。 2. 引き続く 2 の学年の児童数の合計が 16 人以下の場合は、1 学級編制とする。ただし、第 1 学年の児童を含む学級にあつては、8 人以下を 1 学級編制とする。 3. 学校教育法第 81 条に規定する特別支援学級の 1 学級の児童数は、8 人以下とする。
	28	21	20	19	27	25	22	134	
	29	16	21	20	19	27	25	128	
	30	12	16	21	20	19	27	115	
	31	15	12	16	21	20	19	103	
	32	16	15	12	16	21	20	100	
	33	12	16	15	12	16	21	92	
	34	10	12	16	15	12	16	81	
宮嶋小学校	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
	28	8	8	11	8	9	10	54	
	29	5	8	8	11	8	9	49	
	30	6	5	8	8	11	8	46	
	31	8	6	5	8	8	11	46	
	32	6	8	6	5	8	8	41	
	33	3	6	8	6	5	8	36	
	34	4	3	6	8	6	5	32	
山部小学校	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
	28	6	7	9	5	6	10	43	
	29	5	6	7	9	5	6	38	
	30	2	5	6	7	9	5	34	
	31	5	2	5	6	7	9	34	
	32	7	5	2	5	6	7	32	
	33	6	7	5	2	5	6	31	
	34	3	6	7	5	2	5	28	
豊原小学校	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
	28	17	22	34	38	31	36	178	
	29	26	17	22	34	38	31	168	
	30	15	26	17	22	34	38	152	
	31	18	15	26	17	22	34	132	
	32	13	18	15	26	17	22	111	
	33	14	13	18	15	26	17	103	
	34	16	14	13	18	15	26	102	
針小・宮嶋小・山部小 計	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
	28	35	35	39	40	40	42	231	
	29	26	35	35	39	40	40	215	
	30	20	26	35	35	39	40	195	
	31	28	20	26	35	35	39	183	
	32	29	28	20	26	35	35	173	
	33	21	29	28	20	26	35	159	
	34	17	21	29	28	20	26	141	
全小学校 合計	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
	28	52	57	73	78	71	78	409	
	29	52	52	57	73	78	71	383	
	30	35	52	52	57	73	78	347	
	31	46	35	52	52	57	73	315	
	32	42	46	35	52	52	57	284	
	33	35	42	46	35	52	52	262	
	34	33	35	42	46	35	52	243	

